

しょうばら

市議会だより 号外

開かれた議会をめざし
議会報告会開催

発行：令和元年9月20日

庄原市議会では、市民の皆さんへ議会の活動状況を報告し、ご意見やご提言を直接伺うため、議会報告会を開催しました。7月3日から19日まで各地域21会場と市内4高校へ伺い、計585名の方にご参加いただきました。



一般会場では3〜4人の班に分かれて各会場へ伺い、総務、教育民生、企画建設の各常任委員会の調査事項について報告した後、意見交換を行いました。



また、昨年に引き続き、市内の高等学校にご協力いただき、東城高校、西城紫水高校、庄原格致高校、庄原実業高校においても開催しました。



議会報告会の概要とアンケート結果は、8月20日発行の議会だより第60号に掲載しました。

この号外では、各委員会の報告に対する質疑や意見交換で寄せられたご意見から、一部を抜粋してお知らせします。

総務常任委員会

● 公契約条例について

問 市内業者へ発注する際、仕事内容によっては市内で業者の確保ができないこともあるのか。

答 仕事量の関係ではなく、技術的に市内完結が難しい場合もある。

問 公契約条例に沿って執行しているかどうかのチェックは、今までに何回くらいしたのか。また、罰則等はあるのか。

答 具体的なことを決めただけなので、まだチェックには至っていない。庄原市が定めただけの労働者の立場に立った理念条例であるので、罰則等は定めていない。

問 第3セクター・指定管理など、行政が外部に委託しすぎている。本来に力のある企業に委託するから良いのだが、そうではない会社もあると感じる。庄原市行政・庄

原市議会として将来どのようにしていくのかが見えない。

答 市の職員数が減っている中で全てを直営というのでは市行政が回らない。その中で指定管理や委託をやっている状況である。



教育民生常任委員会

● 地域包括ケアシステムについて

問 広義でとらえた地域包括ケアシステムの対策として、災害時、高齢者の安全な避難について、行政は全て自治振興区・関係集落任せのように感じる。課題に対応するため、行政には地域との問題意識の共有とスピード感のある対応を求めたい。

答 地域包括ケアシステム、災害避難対策に積極的に取り組んでいたが、市内各地域の取り組みの進み具合に差も見られるので、常任委員会で協議し、行政の対応が地域とマッチングしていくよう調査等したい。

● 公共交通網の現状と課題について

問 地域生活バスが廃止となり、市民タクシーを利用せざるを得なくなったが、最寄りのバス停まで1km以上でないと利用できないという制約がある。制度緩和ができないか。また、市民タクシー利用の際の事務手続きの簡素化はできないものか。

答 地域の現状を聞かせていただき、委員会の中で公共交通の在り

方について議論し、執行者に対して提案していきたい。

問 川北・高野間の路線バスの乗車率が悪い。「道の駅たかの」へ出荷する野菜なども一緒に運べる仕組みはできないものか。また、スクールバスへ一般客も乗車できる仕組みはできないか。

答 委員会として研究し、執行者へ提案したい。

問 運転免許証返納を促すのなら、それに代わるものが必要。他市では自動ブレーキ搭載車購入に対する補助をしているところがある。本市で検討できないか。現状では、運転免許証がなくては生活できない。

答 委員会として研究していく。

高校会場においても公共交通について意見がありました。

◎ 交通の便が少ない。(バス、汽車も)

◎ 通勤、通学時間帯の列車の車両数が少ないので、増やしてほしい。
上り列車が夕方19時ごろがあれはよい。(現在18時2分と20時5分)

福塩線との接続が悪く、待ち時間が長い。(塩町駅で1時間30分くらい)
答 委員会として研究する。

企画建設常任委員会

● 農業振興施策(WCS 飼料用稲) について

問 各地域において、75歳以上の農家に対してアンケート調査があり、認定農業者も減少している実態が分かった。次世代に農地を渡したい気持ちはあっても相続放棄も出ている。農業の後継者不足の課題に対して、農業を続けていく方策を考えてほしい。

答 農業委員会とも協議していきたい。地域によっては発想を少し変えて、猪の嫌がるヤギを放牧し、草刈りをしなくて済むなど、知恵を出しながら楽しさも加えた取り組みを始めたところもある。

問 寒冷地では作物が限定される。また、気象条件等にも問題があると思うが、WCSは、一回作付けをすると、主食米に戻すのは難しいと聞く。市内全域で作付けができるのかどうか確認も必要だと思う。

答 補助金も充実していると聞いている。気象条件や圃場の規模等も考えて進めていく必要がある。

● 林業施策(森林環境譲与税 関連施策)について

問 林業経営に適さない森林は、市が伐採等の実施をするところがあるが、まず森林組合の人材確保と作業をする者の組織づくりも必要ではないか。

答 作業の前に、境界を明確にする必要がある。地籍調査を実施しているが、所有者の不明などで、現在は僅か4%の実施率である。災害時の問題や有害鳥獣の件もあり、それらも含めて早急な対応が重要と考えている。

問 伐期を迎えた木材は、他市町のエキスパートへも協力依頼し、木材の販路拡大を図ってはどうか。

答 まずは山の境界の確定が必要。また、持ち主の意向調査も必要。現在、建設中の国立競技場は木材を利用しており、耐震強度を高めるための技術も進歩していく。木材の価値が上がる施策に今後も見直ししていく。



意見交換

政務活動費の使い方について

意見 政務活動費を使っているいろいろなところに視察や研修に行っているが、その成果を庄原市の施策に活かせるように有効活用してほしい。

答 政務活動費は会派ことで使っているが、議員全員協議会の中で報告し、課題や成果を共有している。庄原市の施策に活かせるよう、今後も活用していきたい。

第一指定避難所について

意見 地域防災計画について市政懇談会で説明を受けたが、避難所の開設に関して、職員1名を配置、15人以上でもう1人職員を派遣するとのことであったが、様々な場面において自治振興区への負担が多いと思う。しっかり議論を重ねてほしい。

答 これから地域へ改めて出向いて協議をし、最終的な方針や基準は来年度の防災会議で決定されることになっている。自治振興区に対して過度な負担内容にならないよう議会としても注視していく。

学校の統廃合について

意見 学校統廃合問題は市民が問題視している。議員の果たす役割として、特別委員会でも調査するのが当然ではないか。

答 いろいろな意見はあるが、統廃合の問題は教育民生常任委員会が所管事務調査することとなった。



しょうばら市議会だより第60号の掲載内容に誤りがありました。お詫びし訂正します。

P.6 6月定例会

誤) 一般会計・特別会補正予算を原案可決
正) 一般会計・特別会計補正予算を原案可決

P.7 お問い合わせ先

誤) Email giaki@city.shobara.lg.jp
正) Email gikai@city.shobara.lg.jp

高校会場

高校会場での開催も、今年で4回目となりました。
庄原市や議会について考え、議会をより身近に感じ、今後に生かしてもらえよう、各班に分かれて報告会の内容を工夫しました。



テーマを設定した意見交換会では、次のような意見がありました。

● どうすれば若者は選挙に行くか？

▼ 生徒から

- ・若者は選挙に興味がない。もっと情報発信してほしい。
- ・若者に対するいろいろな施策をしてほしい。

▼ 議員から

- ・投票所が、駅・スーパー・コンビニなどにあればいい。
- ・投票基準がわからないということなので、選挙というものへ、問題意識や関心を向けてもらい、知識をつけてもらうことが急務であるように思われた。

● 庄原市を活性化するには？

▼ 生徒から

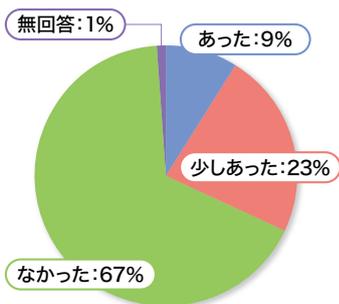
- ・働く場所を増やしてほしい。
- ・観光客をつかむことが必要。
- ・庄原市の良さをインターネットで発信・宣伝する。
- ・市等のホームページは若い人が見たい内容ではない。

▼ 議員から

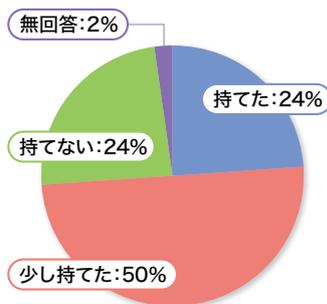
- ・若い人の定住や起業の対策をしているが、すぐに希望する働く場所を増やせない状況にある。庄原には活気のある観光地もあり、観光対策に力を入れる。

高校生へのアンケート結果

これまで市議会に関心がありましたか？



報告会に参加したことで、市議会に関心が持てましたか？



どのようなところに
関心を持ちましたか？

- ・高校生でも本会議を傍聴できることなど、私たちも庄原市政に身近に触れられるところ。
- ・積極的に質問に回答してくれているのを見て、庄原市のことを大切にしていると思いました。

今後も市民の皆さんのご意見を直接お伺いし、意見交換ができる身近な議会報告会となるよう努めていきます。
なお、各会場での質疑等を取りまとめた報告書は、各自治振興センター・高校へ送付し、庄原市議会ホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

